

## 令和5年度 第2回 三ヶ日中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月22日（木） 12時15分から15時30分まで
- 2 場 所 三ヶ日中学校 会議室
- 3 出席委員 高橋一浩、御園崇、渥美浩明、山田善万、岡本和久、長坂恭輔、寺田祐真、清水久美子、永田洋介、鈴木あゆみ
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 井口敏浩（三ヶ日協働センター）
- 6 学 校 江間昌史（校長）、河合司（教頭）、岡田充弘（教務主任）、西田光男（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 西田光男

### 9 議長の選出について

司会の河合教頭から、議長の選出について、これまで同様に高橋会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 給食・授業参観について
- (2) 総合的な学習の時間の見直しと課題
- (3) 学校支援について
- (4) その他

### 11 会議記録

司会の河合教頭から、委員総数10人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 給食・授業参観について

議長より、給食の試食や授業参観について感想や意見を求めたところ、委員より以下の発言があった。

##### ア) 給食について

- ・栄養のバランスがよい。（御園委員）
- ・配膳の動線がよく、スムーズ。ロケーションもよく、子供は幸せ。（山田委員）
- ・味付けはよいが、今日のメニューでは物足りないと感じる生徒もいるかもしれない。（寺田委員・岡本委員・渥美委員）
- ・ヘルシーでおいしい。（長坂委員）

- ・栄養バランスがとれている。BGMが流れていて雰囲気が良い。(永田委員)
- ・献立が工夫されている。時代とともに食器が変化してきた。(清水委員)
- ・笑顔で食べている雰囲気が良い。(鈴木委員)
- ・学年全員で食べることのよさがある。(高橋委員)

#### イ) 授業について

- ・元気がよい。授業の楽しさが伝わってくる。教員が生徒に伝えようとする努力も伝わってきた。(御園委員)
- ・聞く態度がよく、一生懸命である。(渥美委員)
- ・落ち着いて、よい姿勢で授業に取り組んでいた。生徒が前向きな態度で、すばらしい。先生方の授業での工夫も感じられた。(山田委員)
- ・授業での活気を感じた。昼休みに行われた球技大会の余韻があるからなのか、雰囲気の良いよさもあった。(岡本委員)
- ・学年が上がるにつれて、生徒と先生の距離が縮まっているように感じた。情報モラルの授業では、現代的な内容を考える難しさがあるように思われた。  
(寺田委員)
- ・昼休みの球技大会の運営のよさ、盛り上がりはすばらしく、授業での楽しさにつながっていると思う。また、体育の授業でも、BGMで生徒のモチベーションを高めている工夫が見られた。(長坂委員)
- ・一体感のある生き生きとした授業が見られた。(永田委員)
- ・整理整頓された教室で、よい環境で授業ができています。空席があり、不登校の生徒も一定数いるのではないかと。タブレットを活用する授業も見たい。  
(清水委員)
- ・集中力を高めて授業に取り組むことが大切だと感じた。(鈴木委員)
- ・全員が前向きで、笑顔が多く見られた。学校が楽しいと生徒が思えるように、これからも努力を続けていただきたい。(高橋委員)
- ・教室の廊下側には窓がなく、開放的でよいと思うが、その一方で集中力を欠いてしまう生徒もいるのではないかと。(山田委員)

#### (2) 総合的な学習の時間の見直しと課題

河合教頭より、総合的な学習の時間では、20年後の三ヶ日町の活性化に向けて縦割りの8つのグループで学習を進めているという説明があった。また、10月31日の三中祭では、その活動の様子について、2、3年生が発表する予定であることから、学習活動に関する気付きや意見を委員に求めたところ、以下の発言があった。

- ・「Marine」グループに関係していると思われる情報。浜松市では、津々崎の駐車場をマリンスポーツの聖地にしようという動きがあるので注視してもらいたい。浜松市のホームページにも掲載されている。(渥美委員)
- ・総合的な学習の時間に必要な予算を集める工夫をしていきたい。「SUNKO」グループではスポンサーを募って活動資金とした。また、本年度は6月の台風の影響で総合的な学習の時間が削れてしまったので、放課後に時間をとって活動していく必要がある。学校でもそのことを了解して、公的に認めてもらいたい。(寺田委員)

### (3) 学校支援について

校長より、現在、通学カバンの変更と校則の見直しを進めている旨の説明があり、委員からの意見を求めたところ以下の発言があった。

- ・通学カバンを変更することによるメリットだけでなく、デメリットも考えていくべきだと思う。例えば、通学に30分以上かかる生徒が、リュックを背負うことの負担といったことなども考えたい。(永田委員)
  - ・柔らかいリュックの耐久性はどうか。例えば3年間もつのかどうか、リュックのひもが劣化するのではないかと懸念がある。(清水委員)
- リュックのサンプルをもとに保護者の希望を聞いていくこともしていく。  
(校長)
- ・実際にリュックを使用してみたの生徒の意見を確かめることも必要だと思う。  
(清水委員)
  - ・リュックは自転車の荷台にうまくくることができるとも心配。(鈴木委員)
  - ・生徒の考え方も知りたいので、生徒たちの校則の話し合いの結果を公表していただきたい。メリットとデメリットを勘案して決めていくとよいと思う。また、その話し合いの結果をフィードバックして、検討を重ねたい。
- カバンの変更の問題は、「置き勉」が今後どこまでOKになるかによって、また違った考え方が出てくるように思う。(寺田委員)
- ・「置き勉」は教科によってOKになっていると思う。かつては、教科書を全て持ち帰りするというので、黒いカバンが必要だった。(永田委員)
- 子供たちの意見をこの場で知らせることができるようにしていきたい。  
(校長)

(4) その他

高橋会長から、令和 6 年度に 50 周年記念事業を予定している旨の発言があった。また、校旗新調のために卒業生を中心に協賛金を集めていきたいとの説明もあった。

司会から、次回会議は 2023 年 10 月 11 日（水）午後 3 時より三ヶ日中会議室で開催する旨の報告があった。